

平成 23 年度 10 月編入学 大学院人文科学府博士後期課程入学試験問題 (言語学)

問 1 の解答は 1 枚目の解答用紙、問 2 は 2 枚目の解答用紙、問 3 は 3 枚目の解答用紙、問 4 は 4 枚目の解答用紙に書くこと。その際、問 2-1 などと記し、どの問に対する解答かを明示すること。

問 1.

次のエヴェン語オルスク方言のデータを見て、摩擦音の分布について一般化をしなさい。データ中の摩擦音音素は、1 つしかないと思われる。なお、ロシア語からの借用語が少数混じっている。

[hessə] ‘sole’	[ho:ksi] ‘hot’
[busqji] ‘spectacles’	[çiep] ‘pocket’
[ha:ris] ‘you knew’	[us] ‘weapon’
[hər] ‘bottom’	[ha:n] ‘he knows’
[nisa] ‘bead’	[hula] ‘vein’
[çilj] ‘soup’	[saptʃimje:trɛ] ‘centimeter’
[hu:n] ‘blows’	[hɔ:n] ‘his skill’
[çırqan] ‘knife’	[ɔsıqam] ‘star’
[həl] ‘poplar’	[hat] ‘foundation’
[bölös] ‘sad’	[hor] ‘cave’

(次のものを参考にした：

Spencer, Andrew (1996) *Phonology: theory and description*. Cambridge, Mass.; Oxford: Blackwell.

また、データを次のものから補った：

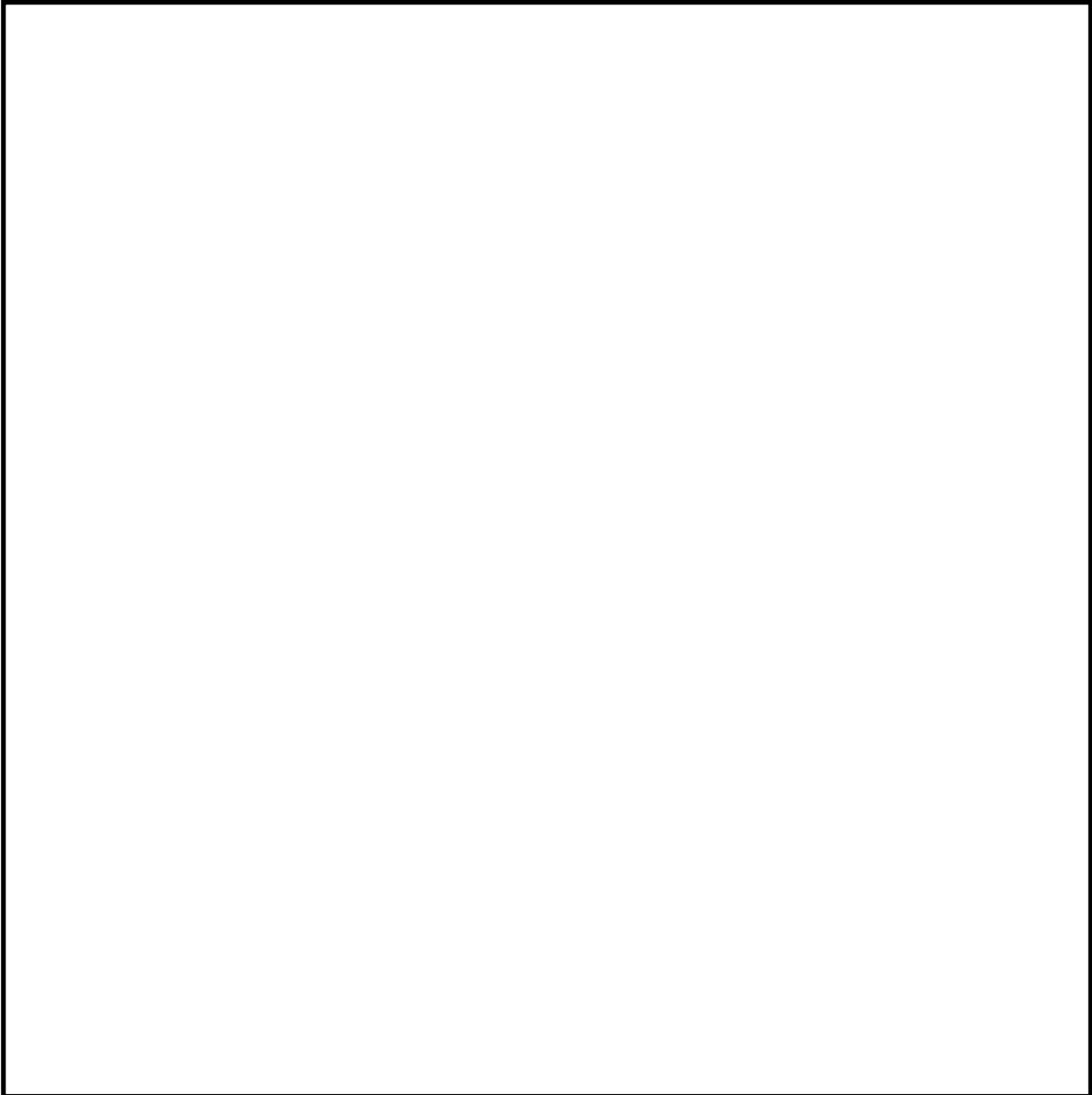
Novikova, K.A. (1960) *Očerki dialektov evenskogo yazyka: Ol'skij Govor 1*. Moskva, Leningrad: Academy of Sciences of the USSR.)

問 2.

次の文章を読み、以下の 4 つの設問に答えなさい。

著作権保護のため、Web 公開版では問題文を削除した。
引用箇所は以下のとおりである。

Chomsky, N. (1980) *Rules and Representation*. Cambridge, New York: Columbia University Press. pp.107-109. 問題作成のために、一部改変。



問 2-1.

下線部(1)を日本語に訳し、なぜ "vacuous" ではないのか、その理由を本文に即して説明しなさい。

問 2-2.

下線部(2)の standard linguistics とはどういうことか、本文に即して説明しなさい。

問 2-3.

下線部(3)である理由を、本文に即して述べなさい。

問 2-4.

下線部(4)である理由を、本文に即して述べなさい。

問3.

次の日本語の文はどのような構造をしていると考えますか。「正解」となる樹形図が1つに決まっているわけではないので、自分の分析にしたがって樹形図を書きなさい。また、その分析で仮定されていることの中で、異論がありそうな点について、自分が採用した分析の理由・根拠を述べなさい。

さっき、部屋の前を通ったのは、山田先生だ。

問4.

以下の用語の中から5つを選び、簡潔に説明しなさい。

1. allophone
2. bound variable anaphora
3. cleft construction
4. contraction
5. ERP [event-related potentials]
6. Grimm's Law
7. island effects
8. minimal pair
9. priming effects
10. telicity